

## 「豊岡市地球温暖化対策実行計画 区域施策編」を策定

～合言葉…、もったいない、ばちがあたる、ちょっとでも、つなぐ、心地よい、自信・誇り。～

豊岡市域の温室効果ガスの排出量を減らすための計画「地球温暖化対策実行計画区域施策編」を策定した。

### 1 策定の経緯

- (1) 地球温暖化対策の推進に関する法律で、都道府県、政令市、中核市は「地方公共団体実行計画（区域施策編）」を策定することを定め、豊岡市を含むその他の市区町村は策定を努力義務としている。
- (2) 本市では、市域の温室効果ガスの排出量を減らすため、市域の現況分析を行った上で、自然的社会的条件に応じた、温室効果ガスの排出抑制等を推進する総合的な計画を策定した。

### 2 計画の概要

#### (1) 名称

豊岡市地球温暖化対策実行計画 区域施策編

#### (2) 策定

平成 28 年 4 月

#### (3) 計画期間

2016 年(平成 28 年)から 2030 年(平成 42 年)までの 14 年間



※ 毎年、環境審議会に取り組み状況を報告し、達成状況の評価・公表を行う。

※ 5年ごとを目安に、必要に応じて見直しを行う。

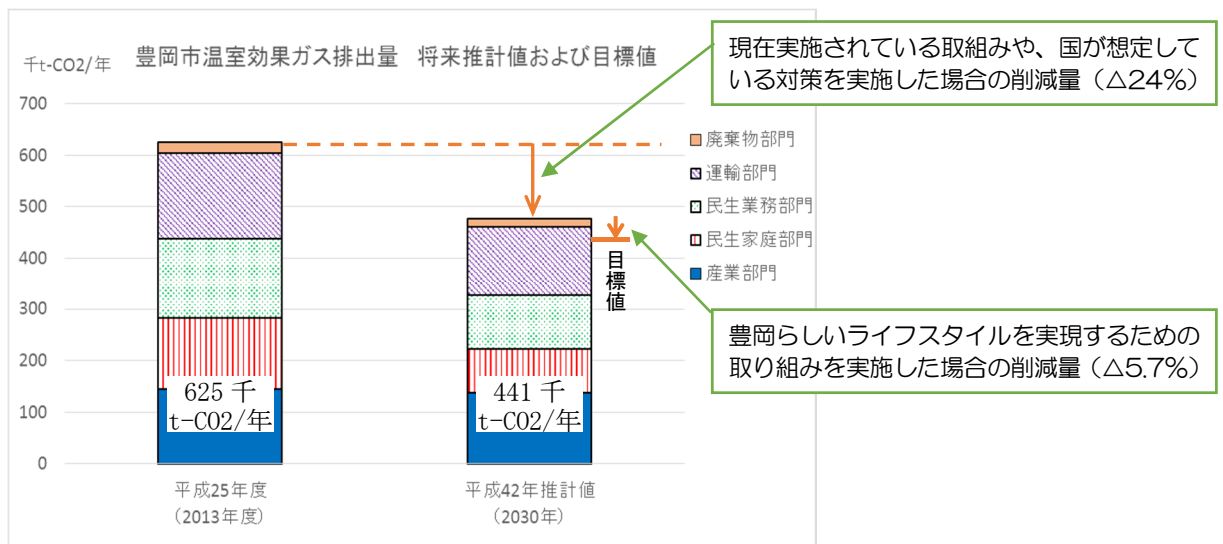
#### (4) 目標年

2030 年度（平成 42 年度）

※ 豊岡ライフスタイルデザインプロジェクトの将来の基準年と同じ

#### (5) 温室効果ガス削減目標量

2013 年度比  $\Delta 29.7\%$ （国の目標値  $\Delta 26.0\%$ ）



## (6) 削減目標達成のための取組み

豊岡型低炭素ライフスタイルの実現のため、2030年の具体的な姿（5つの柱）を設定し取り組む。

5つの柱	具体例
1 自然と共生し、太陽光、森林資源、風など自然の恵みに触れ、生活に取り込む。	太陽光発電・ペレットストーブなど再生可能エネルギーの導入など
2 家族や地域で、集い、ともに過ごし、分け合い、助け合って過ごす。	冷暖房や家電製品のシェア・カーシェアリングの推進など
3 市内で作られたものを食べ、生活に必要なものやサービスをできるだけ市内調達する。	地域内での農産物の流通促進など
4 先人の知恵を生かし、少し手間をかけながら、かしこく、エネルギーを使う。	パッシブハウス〈省エネ住宅の世界基準〉・エコドライブの推進など
5 豊岡らしいライフスタイルをサポートする環境に配慮したサービスを生み出す。	環境サービスを事業化する人材育成、環境経済事業の推進、各主体の取り組み支援など

### ア 現在実施されている取組み等（目標値 2013年度比 △24%）

- (ア) 再生可能エネルギー導入補助金
- (イ) 技術開発・研究への助成
- (ウ) 人口、車両保有数の減少などの社会変化 など

### イ 市独自の重点的な取組み（目標値 2013年度比 △5.7%）

#### (ア) 市民の取組み

- a 地域で複数人が、同乗して、公民館など趣味などを楽しめる場所へ移動を行う。
- b 週2回、公民館などの公共空間に集い、趣味などを楽しみ、各家庭での冷暖房需要を削減する。
- c 冬は木質ペレットや薪ストーブを活用し、家族みんなで集まり過ごす。
- d 家庭用薪ボイラーでわかしたお風呂に入る。
- e セカンドカーをEVに更新する。エネルギーは再生可能エネルギーでまかなう。

#### (イ) 市の取組み

- a 市が率先して再生可能エネルギーの導入を行う。

## (7) 市民への公表

各振興局、地区公民館、図書館などへの冊子の配布、市ホームページ・広報紙(6月25日号)への掲載を行う。

〔問合せ〕 環境経済部エコバレー推進課 Tel.0796-23-4480